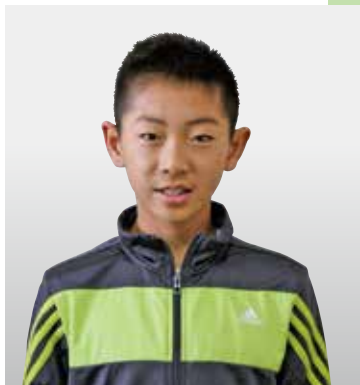




小学生の部
最優秀賞



横林小学校 5年生 東泉 頼人
「夢と笑顔がいつぱいの
那須塩原市になってほしいです」

ぼくの思いえがく那須塩原市

自然のきれいな那須塩原市は今年で十年目をむかえた。ぼくも、まだ十さいの小学生だ。

ぼくの思いえがく那須塩原市は三つある。一つ目は、笑顔がすてきな那須塩原市だ。那須塩原市が、笑顔のすてきな人たちでいっぱいになってほしいと思う。そうすれば、あらそいごとのない、いつも明るい那須塩原市になるのではないだろうか。ぼくは、そんな那須塩原市にあらがれている。

二つ目は、自然のゆたかな那須塩原市だ。那須塩原市は、自然がゆたかだ。那須疏水や那須岳など、そのゆたかな自然が植物や

動物を守っているのかもしれない。ぼくは、そんな緑ゆたかな自然をひき続き守ってきたい。そのためには、このゆたかな自然を大切に使用しなければならぬとぼくは思う。

三つ目は、那須塩原市の子どもたちにも夢をもってもらいたい。自分で夢をもつてその道を歩み、その夢をけっしてあきらめずいつか実現してほしい。できれば、那須塩原市の子どもたち全員の夢をかなえてあげたい。そのためには、子どもたちみんなが夢をあきらめずに努力しなければならぬ

い。ぼくの夢はサッカー選手だ。ぼくは、週に四回サッカークラブで練習しているが練習をさぼったことはない。なぜならサッカー選手になる夢をいつか実現させたいからだ。

那須塩原市が、安心して子育てのできるまちなら、これからもたくさんの子どもが産まれてくるだろう。そして夢をもつてがんばる子どもたちに囲まれていけば、那須塩原市の人たちは、お父さんもお母さん子どももそしておじいちゃんやおばあちゃんもみんな笑顔がたえることはないのではないかとぼくは思う。
那須塩原市十周年おめでとう。



中学生の部
最優秀賞



三島中学校 3年生 三輪 絵理花
「十年後の街の発展を
想像するだけでわくわくします」

十年後も住みたい街「那須塩原市」

那須塩原市は、緑豊かで農業が盛んな地域と、住宅地等が多く生活に便利な地域という二面性を持っています。

また、自然災害が直撃することが少ないことや、新幹線で東京まで約一時間という環境は様々な人が生活する上でも住みやすい条件が整っていると思います。東京のように若者の多い都市も魅力的ではありませんが、私は落ち着いた生活を送れるこの那須塩原市が大好きです。

では、十年後の那須塩原市は、どうなっているのでしょうか。定住する全ての子供から高齢者までの幅広い世代から愛される街づくりが進んでいます。その十年後を四つの視点からみてみましょう。

まずは環境面です。自然に恵まれ、農業や酪農は益々盛んになっています。地元で採れた米や野菜や牛乳などは「那須

塩原ブランド」として全国に出荷されています。また、動物と触れ合う場所や温泉など、疲れた体と心をいやしてくれる施設や設備が充実しているため、多くの人々がストレスの無いゆとりのある生活を送っています。

次に、生活面です。子供が安心して遊べる公園が多く、教育にも熱心で、子供を持つ親が住みたいと思う街です。また、若い人にとってはスポーツや芸術など、様々な趣味を楽しめるスポットが多く、また安定した職業につける街です。元気な高齢者にとっては、生きがいと充実した生活環境に恵まれ、介護が必要な高齢者には最先端の医療と様々なサービスが提供されます。

三つ目は市民の足となる交通面です。道路の拡張等により朝夕の渋滞は解消されています。鉄道は運行本数が増えて乗り継ぎ

も便利になり、バスは路線が広がり行動範囲が拡大しています。車の運転免許を持っていない、学生や高齢者の移動が快適になるだけでなく公共交通機関の発達により、交通事故が激減しています。

最後に観光面です。駅周辺や道の駅には地産地消のB級グルメのレストランがあり、週末には県内外から多くの人が集まっています。おいしいものを食べ、温泉に入り、帰りには豊かな自然から生み出された物産や加工品をお土産に買い求めていきます。もちろん「みるひい」グッズも飛ぶように売られています。

このように十年後の「那須塩原市」を想像するだけでわくわくしてきます。私の想像以上のすばらしい街に変化しているかもしれません。みんなに愛されるような「那須塩原市」になっているのを信じています。